議案第56号「補正予算(第6回)に対する組替え動議」への反対討論

みらいのこがねい 村山ひでき

議案第56号「令和2年度小金井市一般会計補正予算(第6回)に対する組替え動議」に反対し、原案予算に賛成の立場で、みらいのこがねいを代表し討論を行います。

本件の組み替え動議の趣旨は、財政調整基金に積んだ 16 億 8000 万円の中から新型 コロナウイルス感染症対策基金に積むというものですが、組み替え動議でなければな らないとする理由が弱く賛成することはできません。

最初にお断りしておきたいのは、議会として市長部局に対し、緊急を要するコロナ 対策事業を早く行うべきと主張するのは当然のことだと考えます。

我が会派も、具体的なジャンルに対する要望、例えば、高齢者世帯や学生への支援、 また、安心して市民が生活できるよう、いざというときの検査体制の充実などといっ たコロナ対策の要望をしているところです。

しかし、コロナ対策基金に行政部局が新たな対策費を積んでないから政治姿勢を示すべきだという理由で1億8000万円もの大きな金額を積んでおくというのは疑問です。

コロナ対策の予算措置が弱い、もしくは、具体的な施策に対応できていないのではないか?と主張するならば理解できる部分もありますが、コロナ対策基金に積まなくとも、財政調整基金でコロナ対策にお金を使うことができるということを忘れてはなりません。

また、議員諸志に思い出してもらいたいのは、この「コロナ対策基金」が設置された経過です。

そもそも、この「コロナ対策基金」は、コロナウイルス感染拡大により深刻な影響を受けている市民に対し、窮状を救うため議会も議員報酬をカットすることによって 財源を生み出すべく、各会派で意見交換し議員多数が一致するに至ったなかで、生まれたものです。

というのも、このままだと議員報酬カット分が一般財源に溶け込んでしまい、コロナ対策に使ってもらう保証がないのは趣旨に反するので、ならば議員提案で「コロナ対策基金条例」をセットで提案し、議員報酬の削減分はコロナ対策に使ってもらうように縛ったものだったはずです。

つまり、先に議員報酬の削減ありきで、後からコロナ対策基金条例がアイデアとしてでてきたのであり、コロナ対策のお金は、とにかくまずは基金に積もうということではなかったはずです。

この点、コロナ対策のお金はコロナ対策基金に積もうという点に関しては、各会派の思惑はそれぞれあったかもしれませんが、少なくとも最初からコロナ対策基金が提

案されて議論はしていなかったはずです。

しかも、このコロナ対策基金は行政部局が設置したものではなく、議員提案で設置されたということは厳然たる事実です。行政部局が、今後、コロナに使うお金は、とりあえず、このコロナ基金に積んでおこう、と考えて設置したものでもなんでもないという事実は、提案会派の皆様も本日さきほどの私の質疑でお認めになった通りです。もっと議員は議員提案の重さを自覚すべきです。

そして、1億8000万円の算出根拠は繰越金の一割、そして、その具体的な使い方のイメージはまだ現在一致するに至っていないということでしたし、同時に、財政調整基金に積んだお金はコロナ対策に使うことができない、ということではもちろんないということも認めていただきました。

また、市長部局から具体的なコロナ施策の提案があれば、今回の動議により新たに 積むことになる基金のお金を中身によっては使うことも考えられるということも発 言いただいております。

コロナ対策基金に積まなければならないとする理由が不十分と判断し、この組替え 動議に反対いたします。

最後に、西岡市長に一言申し上げます。

コロナ対策基金は、先ほど私が述べた経過により設立された基金、つまり、議会が 主導でできた基金です。市長として、議会の提案で設置された基金であり、具体的な 使い方の提案に対し、遠慮があったのだろうと推察いたしますが、だとしても、議会 の状況を見極め、情報を収集し、早く具体的な使い方を示すべく、議会とコミュニケ ーションをとるべきだったのではないでしょうか?

そして、予算原案で示された、コロナ対策基金に積んだ議員報酬カット分や、特別職の報酬カット分だけのコロナ対策基金 290 万 4000 円の使い方以上に、何よりも重要なのは具体的な新たなコロナ対策の提案だと考えます。

たとえ今回の補正予算(第6回)に間に合わなかったとしても、今議会の会期中に間に合うよう新たなコロナ対策の追加補正予算が提案されていれば、今日のような状況にはなっていなかったはずではないでしょうか?

市民生活を守るために緊急を要するならば、今議会中の追加提案や、場合によっては 10 月中の臨時会を開会することも視野にいれて、リーダーシップを発揮し、議会に提案されることを強く西岡市長に要望し反対討論とします。